

# バス<sup>de</sup>ス週報

断崖

31

## 在伯明治人の杞憂

昭和日本が経済的にも思想的にも行き過ぎのため混乱を生じていろいろかのようない見ているのが現状であろう。日本経済を吾々在伯明治人は多少の不安を以つて見ていくのが現状であろう。日本経済がふくれ上り、海外手持ドルがだぶつき、大手商社が東南アジア進出かう、こんどはブラジルへ鉄先きを向け、二年越の進出で二百以上へ三百？の商社のるのりを上げたということだ。世界第三位経済大国と謂えられる日本だけあって旭日昇天の勢いだが、一旦アラブの石油の新作戦にぶつかると、怨う崩壊？の兆しを見せ、経済の混乱を見せた。経済動といふ好しかくな敬遠異名を受け、東南アジアではひどい排日的反撃を受けたといつ。日本商社のおこりかう後進国を見くびつた、シッペイ返しかも知れぬが、ブラジルでそういうことが起きないようになると邦字新聞が幾度か警告しているところを見ると、すでにその兆候があるのではないか。

金さえあれば、と貢本の力に物をいわせて旧い在伯邦人をこえ眼中に入れたい

ような傲慢ぶりが見えるのは力いか、とうようなつぶやきもある。

バス<sup>de</sup>スの初期第一小学校は後藤千代喜元校長が、教え子達から慶祝をすすめ去る七月初旬御夫婦でサンパウロに着き、各預見聞の上、七月十九日にバス<sup>de</sup>スを訪問された。四十二年ぶりに見るかけ、ひどい品不足、食うや食わざの極貧の教類をとったが、先生は純日本式の教育で生徒にのそんだが、先生の薰陶を受けた生徒も早々舞五才に達し、相当の人物が輩出している。

先生はバス<sup>de</sup>スに第一歩を印して、自分の想像していき通りのバス<sup>de</sup>スを発見したといわれた。建物や街の姿こそ変っているが、バス<sup>de</sup>スを支える氣力とか、精神という程の底力、何かそこに日本のものが感ぜられるということであろう。

十九日夜、守偽美會堂で先生の歓迎会が開かれたが、出席者旧友三十数名、その中に佐々木薬局主が隠暁たる調子で「日本人が工コノミック、アニマルと言われる程きらわれてゐるのですか」と質問

第1423号  
昭和四十九年  
七月二十九日  
月曜日  
発行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Shion Oda  
Rua, Pres.  
Vargas, 188  
C.Post. 112  
Fone, 40  
BASTOS  
C. P.  
Anual, Cr. # 40.00  
Adiant,

GASA TARODA



電話：十六番

スベルメルカード  
太郎田屋吉衛門

「日本が戦争末期、戦局が悪化したのは関東軍を全部南洋方面に移動したが、その大半は移送船を敵機の爆撃にされ、いま本士決戦という眞際に広島へ原子弹が落されたときには、これが終戦のキッズ時代を、どうやら切り抜け、やつと十数年がかりを死にもの狂いで生き通して、その間、見得外聞なかつたのではな

いですか。  
一旦上昇経済となれば、もうこれでよろしいというブレーキはきかない。どちらし上昇する。これが外国人にきらわれた原因ですが、日本国民性の根んぱりに、たって、二十数年間に亘り立ち止まつた精神力というものは、すばらしいと思いませんか。工コノミック、マニアルといわれても、仕方がないと思います」と、後藤先生。つづいて日本の教育問題について質疑。

サのよいきせで、当時の日本では受けとるより外がかった。御存じの通り、天皇を戦犯として裁判に付すと言う議がソ連あたりから出でた時、天皇は自ら進んでマッカーサーを訪問し、自分一身はどうでもかまわないから、日本国民のたうでマッカーサーは天皇の御人格に強く打たれたのは有名な話であるが、台湾の蔣介石は日本の陸大卒で、天皇中心の日本の在り方をよくわきまえていたのである。終戦後憲法が改正され、主権民となり勤務すれば、さっさと帰ってしまい、宿題など見ても時間外手当が出るわけでないから、学校以外の場所では一切生徒と解れない。それから、日本教員労働組合、いわゆる日教組を作つて、總本部を東京におさむ各府県に支部をおき、教員の保護団結を固くする。給料の何%かを組合本部に納めるので、給料の受けられぬ時など、その保証として、組合が支給してくれ、また、職を失つたときは、その面倒を見るばかりでなく、生活費の保証をする。それが教育に影響したわけだ。教師も労務者である。朝八時から午後四時半まで、勤務すれば、さっさと帰つてしまい、宿題など見ても時間外手当が出るわけではないから、学校以外の場所では一切生徒と見えていた案配。中小学の教員、高校、大学の先生に至るまで、日本全国の教師の七〇%まで組合に加入していろ。中には加入せず、教員の真価のために別力組合を作つているものもあり、四五十年前の教師氣性をもつ青年教師もなりわけではないが、日教組加入者の圧力を受けることもある。日教組自身に教員も勢い古い体制を打ち倒そうといふ気分と色彩をもつてゐる。しかし教員が教壇上から社会主義や共産主義を学生に教えることは、教員の均等といふから法で禁じられていて、そういうことの心配はないわけだが、「日の丸」を揚げることは、軍国主義につながるから反対だとか、「君が代」は、天皇の御代を詔賀することで、主權存続の精神に育つた人々の目から見ると、今の日本の教育界は混乱を来たしている観がないでもない。

しかし、この混乱の中に、これではいかぬ、もつと次代の日本を背負う青年をもつと健実な方法で指導すべきであるといふ考え方をもつ者も、今や相当に多いので、教育の刷新も行はれる期待が多いの

法律のことなら何でもお気軽に  
御相談下さい

**Organização Rio Branco S/C**  
ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS  
Dr. Dr. 小林川雅宏 法律会計事務所

シンシケート顧問弁護士  
民法・刑法・労働法  
会計事務一切  
テスパッシュ・ヨス  
保険・生命保険・自己保険  
農業保険、その外の保険  
外国人登録・帰化手続  
身分証明。その他

ブレンテンテヴァルガス街一八九  
郵函一一〇三番  
電話リ一〇五番  
一八〇番

学校の校長は日教組教員を統御していくのに非常に遊儀しているが、会議など聞くにも、前以て個々に渡をつけておかぬと、提出來をひっくり返えされてしまうこともあるという。意識ある日本人は大半あるので、だんだん教育問題など聞くにも、前以て個々に渡をつけておかぬと、提出來をひっくり返えされてしまうこともあるという。意識ある日本人も大半あるので、だんだん教育問題など聞くにも、前以て個々に渡をつけておかぬと、提出來をひっくり返えされてしまうことがあるという。意識ある日本人は大半あるので、だんだん教育問題など聞くにも、前以て個々に渡をつけておかぬと、提出來をひっくり返えされてしまうことがあるという。意識ある日本人は大半あるので、だんだん教育問題など聞くにも、前以て個々に渡をつけておかぬと、提出來をひっくり返えされてしまうことがあるといふことだ。  
二日で三万は下るまいとのこと、霞ヶ丘エスボジソン付近で五六軒をどうへ駆けたのが一件の事故もなかつたのは何よりのこと。  
又かばら夜宿したりなどとけ入植祭であった、

無事に終った入植  
系音

# 訪日の方

4

## 梶山茂平(双樹)

### 県内観光

御前崎燈台は、佐田啓二、高峰秀子共演映画、喜びも悲しみも幾年月の口に船にとては無くてはならぬ燈台である。去る五月九日、伊豆半島沖合に発生した震度五マグネチード六、八という大震の震源地石廊崎から駿河湾を挟んだ岩の岬である。数年前より観光地としてのクローイズアップし、大酒店、レストランがあり、遊園地あり、東京、大阪ある。名古屋方面より押し寄せる観光客で大の変盛況である。夏期は海水浴場として最も良く、太平洋の荒波にまかせて泳ぐ快さは経験したものでないと判らない。また前崎港は太平洋を航行する船舶の中でも良く、太平洋の荒波にまかせて泳ぐ快さは経験したものでないと判らない。内に松の木に数羽孔雀が雛を孵していき見ると、十羽ぐらい放してある。また漁港として大きな機雀も安閑として雛を孵えして居られる。魚市場が活潑な動きを見せていた。一尾の五寸、十寸という大きなのがあり、此處で買うと生きの良いのが市価の半値で貰える。また、日本では建築材から衣に到る迄みな輸入によるもので、何處の山林を見ても、戦後新植された松杉ばかりで、二三十年先までないと伐り出せないので、何處の山林を見てもラワン材や米松は豊かなものである。沼津市の姪の嫁家を訪ねた。はじめの計画は、伊豆巡りのつもりであったが、突然起つた地震のために予定を変更して西海岸の長岡水族館を見学することにした。各地から集められた魚類がサンクスの水族館と同じような方法で水槽に入れられれているが、ブラジルの魚は遂に見付からなかつた。毫もサントスのより小さしかが、地方の水族館としては、よくこれだけ集め、設備をしたものと思う。何といつても此處でのみものは五木もある。較の曲芸である。海中に高い橋が組んである。調教師がその橋から餌を撒くのであるが、六、七尺も數が海中から跳躍して上かるが、よく馴らしたものと感心した。入江は外海と臆断してあり、数匹遊泳しているのがよく見える。

今日は親戚の車二台に分乗して家族連れで伊豆半島中央東海岸の仙人掌公園に遊びに来た。仙人掌園というから、海もあり、各国の蛇や蜥蜴が皆生きていた。

来る八月八日 午後二時から五時まで

## 講話大会

此の度日本御本山から重鎮特派使、御一行がお見得になられ、御講話大会が催されます。

どうか連絡不届きの処もあると思いまますから、此の紙上案内を御近所衆お誇い合つて、お集り下さいます様おたのみ申します。

バスト・南米本願寺理事会

皆々様

小型のジャカレーも居たが、大部分は中南米産で、遠くアフリカからも来ていた。蝶は皆剥製だが五百種、約五千羽位が飾られていた。大きいのは十七枚位だった。良くな土産を持って行く蝶が額見付けようと思つたが遂に見付からなかつた。良くな土産を持って行く蝶が額入りで一万五千から二万五千の正札が附いていた。

仙人掌園は、光線を取る部分だけが硝子張りになつていて、園全体が芝生に覆われた広大な地下園である。アフリカ産で震度五マグネチード六、八といふの大震の震源地石廊崎から駿河湾を挟んだ対も少しはあるが、大部分は中南米産であるが、岩の岬である。数年前より観光地としてのクローイズアップし、大酒店、レストランがあり、遊園地あり、東京、大阪ある。手入れが良いのか、環境がよいのか、名古屋方面より押し寄せる観光客で大の変盛況である。夏期は海水浴場として最も良い、太平洋の荒波にまかせて泳ぐ快さは経験したものでないと判らない。内に松の木に数羽孔雀が雛を孵していき見ると、十羽ぐらい放してある。また漁港として大きな機雀も安閑として雛を孵えして居られる。魚市場が活潑な動きを見せていた。一尾の五寸、十寸という大きなのがあり、此處で買うと生きの良いのが市価の半値で貰える。また、日本では建築材から衣に到る迄みな輸入によるもので、何處の山林を見ても、戦後新植された松杉ばかりで、二三十年先までないと伐り出せないので、何處の山林を見てもラワン材や米松は豊かなものである。沼津市の姪の嫁家を訪ねた。はじめの計画は、伊豆巡りのつもりであったが、突然起つた地震のために予定を変更して西海岸の長岡水族館を見学することにした。各地から集められた魚類がサンクスの水族館と同じような方法で水槽に入れられれているが、ブラジルの魚は遂に見付からなかつた。毫もサントスのより小さしかが、地方の水族館としては、よくこれがだけ集め、設備をしたものと思う。何といつても此處でのみものは五木もある。較の曲芸である。海中に高い橋が組んである。調教師がその橋から餌を撒くのであるが、六、七尺も數が海中から跳躍して上かるが、よく馴らしたものと感心した。入江は外海と臆断してあり、数匹遊泳しているのがよく見える。

今日は親戚の車二台に分乗して家族連れで伊豆半島中央東海岸の仙人掌公園に遊びに来た。仙人掌園というから、海もあり、各国の蛇や蜥蜴が皆生きていた。



日常生活になり、曾つての小作は一夜に地主長になつたが、在満約十二年、終戦の翌になつた。そこへ勧僕財蓄ならぬ、消費年五月引揚移民として帰国した。その当て何になる。財を残して何になる。そうして何に付いていた移民村は、もともと移住しに比て食えやれ飲めさら遊べという昭和型江戸は、終戦後難儀したといつても移民に比つ子が誕生した。これに着目したヤマハベレは、またよい方だつた。北部の守り日本に遊び場ばかりが拡がつて行くので日本人が土地を買つたものでなく、日本人である。

車の序に妻恋ランドの隣り人口ヒ万の掛川市の私部も少し覗いて見た。人の嫌、俺たちの土地を日本人が勝手に取り上げた土地だから、彼等満人に云わすればがる塵芥捨場である。掛川市では焼ける物と焼けない物と二つに分け、焼ける物、掠奪を受け命からがら何十日もかかるは焼却炉で焼いてしまい。プラスチックで徒步で奉天地方まで辿りついた。生きや金属類はみな山間の谷間に捨て、ブルのびるため幼児や病人を捨てる者も多

トト。サで山を崩して埋め、ここを茶畠にかた。家賊を奪われ、婦女を拉致され分譲してい。プラスチックや鐵屑だけでも沢山あつた。それら難民は食うに食うに定をあつても三十分間に三台入荷した。こうして、食なく、着るに依なく、サッコに穴をあつた。此の辺の茶畠は抜がつて行く。

一ヵ所にテレビだけ三百台もまとめて捨てある所があつた、不思議に思つたの。中を耐えて奉天に辿りついたが、先住ので案内してくれた人に訊いてみると、四を開放して収容したが、ここで発疹子病院で、百台になると、市役所から人夫をマンスが発生して、多數の人が死んだ。私が駆らされた若者が、果して節約ムードにいたが、一万米の高空から正確に爆弾投げられて、嫁わして捨てるのだろうが、この後藤先生も匪賊に襲われ、さんざんな

ダして嫁わして捨てるのだろうが、この後藤先生も目にあつた。

五年前までは、この捨てたテレビやラジオの部品を外すす商販もあつて、結構良い日當になつた。だが、今頃は人手不足で、いつの間にやら部品外すしの商賣も消えた。

## 苦労した後藤千代喜先生

バストス第一小学校（中央）の校長として一九三四年四月近く校長として就任された後藤千代喜先生は純日本式の教育法で日本の美風を移植し、日本的心構えを醸成することに力を注いだ。當時ぼつぼつ外国语を取り締る風潮が起きつつあったので、コロニア・バストスの前途と自家思想の違いを察じて多く分そのような配慮であろう）、遂に帰国されてしまつたが、三十二歳であつたと思ふ。

当時、新らしく満州國が誕生し、政府の鶴物入りの宣伝と奨励により全国から凡そ二百万人以上の満州移民が送り出され、彼らは主として満州北部シベリ亞に北滿州の守りについた。後藤先生は奉天市に奉職し、後に同校の校

LUCELIA  
Dr. Sínhiti Yamoto

Ortopedia - Fraturas - Reumatismo  
Com: Av. Brasil 989 fone: 241 Res: R. Amazonas 1955, fone: 425

医学士 山本進

診療所

パウリスタ線  
ルッセリア市

アベニダ・ブラジル 九八九番

アマゾーナス街 一九五五番

電話 二四一一番  
電話 四二五番

午前八時～十一時半まで  
午後一時半～五時半まで  
土曜日～正午まで  
日曜日は休診

下する。日本軍の飛行機も飛ひ立つて行くが、速力の相違で追付けない。関東軍は南方面に転出してしまし、実際に心細い限りであった。そして終戦間迫に六人の子供を残して家内が亡くなつたのです。翌年の五月頃から引揚げが始まり、普通なら奉天から下関まで二日の旅行であったのが、第一回吾々の乗つたのは車両に何千人もすレ詣にされ、二十五日後藤先生と六人の遺児は奥さんの骨をたずさえて辛くも郷里へ帰つたが、生活の道なく、一知人に闇屋になろうかと相談したところ、一送に付され、学校の教員に商賣が出来るものか、教員になれといわれて、手続きをして、初一歩からまきなおしたのであつた。勤めに出るとやつても、下は幼児であるから、小供の面例をみこもうたり、今の奥さんと再婚に進み、三十年の長きにもわたつてゐる。

終  
サ

## 連載 悅 悅 の 人

63

茂造は、夜も鎮静剤の量を減らしてみたう、それでも眠れるようなので少な目に与えている。昭子の茂造を扱う態度はいよいよ慎重になつていた。ある日、何を思つたのか、彼が玩具屋で赤ん坊用のオルゴール入りガラガラを買つて来た。茂造がどうするかと見てみると、彼は手に持つて振つてみて、音がするのに驚いたらしく、不思議そうにまじめじと眺めている。やがて何度も振り鳴らしてから、「モシモシ」と昭子を呼んで振り見て、「あう、いい音ね」と言うと、光るようになつた。茂造は、おだすつかり子供に還つてしまつてゐるのだ。昭子より先きに、彼を見抜いて来たのかと思うと、感動が胸に詰つて來た。小鳥と花とオルゴール。茂造は、やさかに微笑している。しかし、この平和も長くは続かなかつた。誰れでも疲れの出る夏の終りに、茂造が離れる宿所に入り込んで、中に閉じ込めた。岸君の留守で、その日は火曜日だ。たかだか工三は茂造をつれずに買物に出かけた。昭子は昭子で茂造が呼んでも呼んでも離れへ遊びに行くので、工三たちが迷惑がうないのでそのままにしておくことがあり、おはさん、大変、お爺ちゃんがトイレ

から出てくれないの」、「工三が呼びに来てから驚くことになつた。便所の扉は中から閉めてあつて、そらく落ちていない証拠には扉一枚の向うで、工三と昭子が交互に呼んでも叫いても聞けるように、外から呼んでも叫いても聞けるところか返事もしない。」「お爺ちゃん、お爺ちゃん、お爺ちゃん、お爺ちゃん、お爺ちゃん」、「モシモシ、モシモシ」、「モシモシ、モシモシ」。工三と昭子が交互に呼んでも茂造が出て来ない。便所の扉は鍵といつても中から止め板が動くだけの純日本式の雪隠戸で、叩き破ろうと思えば出来るのだが、場所が場所だから後のことも考えてみないと、すぐにわけるにはいかない。扉と柱の隙間に隙間には、オートクの先を差し込んでみたら、どうだろうかと昭子が思索し始めたとき、工三が外側の窓からなんとか入つてみると、昭子が母屋からオートクを持ち出してきて、ぐり込もうと苦心している。便所の窓は上と下との二個前にあって、上の窓にはれぬ格子が外から打ちつけてある。

AULAS DE PIANO

PROFESSORA ELZA YUGUE TAKATA

Informação; Fone 93

ピアノ

お方に  
習いたい  
たいまつ  
話し合い  
教授しま  
詳しいことは  
話す上で

高田弓削エルザ

下の窓は誰なく開いたか、なんとしても幅が狭いので土みの小さな顔も入りかねた。

「意外と防備がしつかりできてるんだなあ・これじゃ泥棒も入れませんわ、おばさん」

昭子も躊躇して中を覗たが、中仕切の扉聖市まつたく茂造は何をしてしるのだろう。も開っていて茂造の姿も見えた。

溜息をついで、思わず猛烈な臭気を吸いこんでしまった。昭子は噎せた。結局は心を落着けて、ブオーツの先まで差込みをパウト。騙しながら、ようやく扉を開けてみると、茂造は陶製の男性用の便器一般にクアサガオと呼ばれている。それを抱えて足立とうとして立ち上立とうとした。アサガオは完全に羽目板からバズス外すされていた。それを抱えて、茂造は立れないうしかった。しかしまあアサガオを、茂造は何かう思いついて、しかもどうやつて外せられたのだろう。

「お爺ちゃん」

肩を叩いて大声で呼ぶと、茂造は昭子と工三の顔を交互に見て、にっこり笑った。

が、喘いでいる。アサガオを昭子が押えきがねえていたのだ。

母屋に連れ帰つて着ているものを脱がして、ちつとも掃除をしていないせいか便器ろくにしていいのがかねが内昭子には

の臭さはたとえようがい。茂造自身も氣になつていていたのだ。昭子は綺麗好きでは

、工三が茂造の体を外へ引摺り出したが

、が、匂いので開口だづかた。お爺ちゃん、あたは何していたんですいたのだ。

きがねえていたのだ。お爺ちゃん、あたは何していたんですいたのだ。

母屋に運び戻つて外したんでしのに気付いたのか、四つん這になつて抱え

疲れているうしかつた。淡い塩茶を飲まると、やはり重い。茂造が立てなかつた

せてから、布団を敷いて寝かせると、す苦だと思つた。お爺ちゃん、あたは何していたんですいたのだ。

訊いても訊いても茂造は返事をするど、便器はまるで買ったてのようだ。お爺ちゃん、あたは何していたんですいたのだ。

ぐ眼つこしまつた。離れた便所も気になつて見に行くと、外へ出しても茂造は洗剤をかけてタワグツでこすつて洗い出した。老婦二人がひつたりなつちやつてすぐ眠りましたよ。板も壁も剥けたみたいになつてます。

「お爺ちゃんはどやつて外したんでしのに気付いたのか、四つん這になつてしまつた。お爺ちゃんは、これに汚れていた。よく考むてみれば、いかに大家はう、上手にすらして、ねじ釘で苦労して、親も同然といつても、こんなことまで踏止める」と、アサガオが少々右に傾き加減で

工三達の生活がルーズで家の中の掃除もころに、山岸君が外出から帰つてきて、

## 花の御礼

入植四十六周年祭演芸節選元

「意外と防備がしつかりできてるんだなあ・これじゃ泥棒も入れませんわ、おばさん」

バズス第小学校同窓会様 木口正功 長崎熊次 清家ルミ

西川誠一 香林部ソシ

里川三三男 小田まつえ 白岩峯

岡本花子 池戸信次郎 豊島喜一

川辺 小沢豪鶴場 加藤セシリア 梶田商店 千葉敏人 山根きくみ

大野正一 宇佐美宗元 河西静男 水津三男 梅田 松村一郎 梶田商店 梶田商店

有馬重一 池田巖 河西静男 豊島喜一

川辺イサノ 大隊孝雄 田川ジヌ子 真野麗子

梅田 水津三男 松村一郎 梶田商店 梶田商店

梅田 河西静男 水津三男 松村一郎 梶田商店 梶田商店

入賞者一覧

モシモシ、どうしたの？」 と不審そうに二人の顔を見比べている。 「モシモシさん、アサガオ？」 たのよし、「アサガオって言つたの？」 「シモシモシさん、それがそれをどうして外したんだい？」 「これ、アサガオって言つたって、モシモシさん、それがそれをどうして外したんだい？」 「え、謎なのは、今のところ、」 「工三が聞うかに笑いながら、駒木遼夫に話してきかせた。便器にしみついていた一位、奥氣の鋭さが思ひ出され、それが誰であろうこの若者のものだと気付くと急に恥かしくなってきた昭子は、話の途中で母屋に帰った。若い二人からモシモシさんと呼ばれていた茂造は、昏々と眠つていた。 工三の言つた通り、彼の行動はただ謎で、工三の言つた通り、彼の行動はただ謎でした。だが、二人とも「へえ」と言つて他に言葉がなかつた。昭子が便器を洗つた話はどちうにもできなかつた。翌日になつても茂造は起き上れなかつた。体温は平熱だ。だが、疲れがとれない。昭子が懲れたようには茂造がアサガオを診器を当ててから、午後看護婦と来診した医師は丁寧に聽診器を当ててから、と云つた。今年の暑さは「大分弱つておられます。今年の暑さはひどかつたですからね」と云つた。昭子が懲れたようには茂造はようやく自分の強心剤を打つて、病氣ではないのだから診器の必要はないでしようと、医者の言葉通り病氣ではなかつたから、お大事に」と言つて帰つて行つた。
医者の言葉通り病氣ではなかつたから、四日目になつて茂造はようやく自分の強心剤を打つて、病氣ではないのだからと思つようである。
山岸夫妻は一、二度見舞に来て、といふ時代の体罰測の考え方でたぶんだけど、現代医学も凄いね。老人は殺さず生かさずつていうのかな」「でもモシモシさんは夢見る人よ。うつとり生きていろわ。躰が壊れるよりいいんじゃないの！」
モシモシ、どうしたの？」 と不審そうに二人の顔を見比べている。 「モシモシさん、アサガオ？」 たのよし、「アサガオって言つたの？」 「シモシモシさん、それがそれをどうして外したんだい？」 「これ、アサガオって言つたって、モシモシさん、それがそれをどうして外したんだい？」 「え、謎なのは、今のところ、」 「工三が聞うかに笑いながら、駒木遼夫に話してきかせた。便器にしみついていた一位、奥氣の鋭さが思ひ出され、それが誰であろうこの若者のものだと気付くと急に恥かしくなってきた昭子は、話の途中で母屋に帰つた。若い二人からモシモシさんと呼ばれていた茂造は、昏々と眠つていた。 工三の言つた通り、彼の行動はただ謎で、工三の言つた通り、彼の行動はただ謎でした。だが、二人とも「へえ」と言つて他に言葉がなかつた。昭子が便器を洗つた話はどちうにもできなかつた。翌日になつても茂造は起き上れなかつた。体温は平熱だ。だが、疲れがとれない。昭子が懲れたようには茂造がアサガオを診器を当ててから、午後看護婦と来診した医師は丁寧に聽診器を当ててから、と云つた。今年の暑さは「大分弱つておられます。今年の暑さはひどかつたですからね」と云つた。昭子が懲れたようには茂造はようやく自分の強心剤を打つて、病氣ではないのだからと思つようである。
山岸夫妻は一、二度見舞に来て、といふ時代の体罰測の考え方でたぶんだけど、現代医学も凄いね。老人は殺さず生かさずつていうのかな」「でもモシモシさんは夢見る人よ。うつとり生きていろわ。躰が壊れるよりいいんじゃないの！」



新うし映写幕と最新式映字機による画面の明るさと音響効果の素晴らしさ

七月二十八日(日)九時半二十九日(月)八時

東映天然色(博徒斬入隊)鶴田浩二・田波哲郎・渡辺恒彦・工藤昭子・若山富三郎

人を殺すんだ、鶴田浩二・田波哲郎・渡辺恒彦・工藤昭子・若山富三郎

東映夜の歌謡

黒色シリーズ

燃えさせて、また燃える、男と女の朝から晩まで

東和

総天

黒色

八月二日(金)八時

三日(土)九時半、東和プロダクション

八月四日(日)九時半

五日(月)八時

東映傷つけ

総天

黒色の人生

東和

総天

黒色

八月六日(火)七日(水)両夜とも八時

東映新網走

黒色番外地

モーレン老山と悪党九人、這く子もだまる囚人部隊が心臓破りの大突撃手ノ

八月九日(金)八時

十日(土)九時半

八月十一日(月)九時半

十二日(火)八時

東映天然色(銀蝶渡り鳥)

桜井芽衣子、東映第一回主演

メニンシッテ(MENINGE)がショケツ

をきわめている。七月二十四日追悼聖市

で三百才八十人。パラナ州で約百人死亡

サルバドロ市内で二千人遺者があり、

ゴヤス州・フランシア地方にも罹病者が

出ている。ツバソ病院にも二十人程入院

内二人はバステンセであるといふ。

そのため小中学校は八月十二日追悼式

を延期することのこと。

○ 予筋につき注意

一週間に亘る塗水をうがいをする事。

多勢の人の集まる處をさけること。

冷たい水やアルコール分をさけること。

病院などへ見舞に行かぬこと。

家の内外、身のまわりを清潔にする事。

疲れやすい仕事をさけること。

養分のある食物を多くとること。

タバコの使用のこと。へ食器からうつ

る。

頭がひどく痛むことは、医者に看てもらうこと。

以 土

バ ス ト ス 市 役 所

名 位

バ ス ト ス 市 役 所

一九七四年七月二十三日

御 礼

Sheiro de Cine Bastos  
青 幻 沈 遠い日の母は  
美しくく 美人 美人  
鶴田浩二 山岡久乃  
賀来敏子 新井扇弘  
若山富三郎 萩原文太  
藤純子 長門裕之 桜町弘子  
浜木綿子 若山富三郎 大木実  
黒沢年男 田中邦衛 田村奈美  
星由里子 安藤昇

高倉健 谷隼人  
日は皆さんの御協力により滞りなく盛大に祭典を挙行することができました何よりでした。御遠方から来て下さいました各位も無事に御帰宅のことと存じます。併せてバステンセの方々にも厚く御礼申しあげます。

青 幻 沈 遠い日の母は  
あんな 森進一 方ト全  
野川由美子 萩宮辰夫  
橋幸み 棚さすみ  
新井扇弘 速藤辰雄  
若山富三郎

賀来敏子 伊藤義助  
新井扇弘 伊藤義助  
大木実 伊藤義助  
大木実 伊藤義助  
田村奈美 伊藤義助  
谷隼人 伊藤義助  
桜町弘子 伊藤義助  
大木実 伊藤義助  
田中邦衛 伊藤義助  
安藤昇 伊藤義助

AGRADECIMENTO DA PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS